

評価基準

審査項目	評価基準		配点	様式		
応募者の実績	応募者の同種業務の完了実績についての実績を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。 同種業務の実績 [0.2] 上記を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を本評価項目の評価点とする。		5	様式4		
担当チームの能力	主任技術者及び専門技術者（建築・土木・プラント電気・プラント機械）の同種業務の実績を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。 A. 同種業務の実績 [0.2] B. 携わった立場 ◇主任技術者の場合 主任技術者（総括責任者）の立場で携わったもの [1.0] 専門技術者（担当技術者）の立場で携わったもの [0.5] ◇専門技術者の場合 主任技術者（総括責任者）の立場で携わったもの [1.0] 専門技術者（担当技術者）の立場で携わったもの [0.5] 上記の基準に基づき [A×B] を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を、本評価項目の評価点とする。		主任技術者	5	様式5	
			建築	5	様式6	
			土木	5	様式6	
			プラント電気	5	様式6	
			プラント機械	5	様式6	
提案書	業務実施体制及び方針	業務への取組体制、担当チームの特徴、業務を実施するうえでの課題や問題点の把握等について総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い[1.0]、高い[0.8]、普通[0.6]、やや低い[0.4]、低い[0.0]		業務実施体制	10	様式9
				業務実施方針		様式10
	業務実施スケジュール	業務スケジュールの妥当性、実現性について、総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]			10	様式11
	テーマに対する提案	I	テーマⅠ、Ⅱ、Ⅲのそれぞれについて、提案の的確性（与条件との整合性が取れているか）、独創性（専門的知見に基づく独創的な提案がされているか）、実現性（理論的に裏付けられており説得力のある提案となっているか）等を評価する。 評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]	I	10	様式12
		II		II	10	様式13
		III		III	10	様式14
	ヒアリング	コミュニケーション能力、説明能力、業務への取組姿勢等を総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]			10	—
参考見積	配点×最低参考見積金額÷参考見積金額。 本プロポーザル参加者のうち最低参考見積金額を満点とし、他の提案者を相対的に評価する。少数の取り扱いには少数第2位を切り捨てる。			10	任意様式	
合 計				100	—	

※上表中 [] を評価点とする。

※ [評価点] × 配点を各審査項目の得点とし、各審査項目の得点を合計した総得点が最も大きい者を特定する。

※2段階審査を実施する場合は、第一次審査で「応募者の実績」及び「担当チームの能力」について、第二次審査で「提案書」について評価する。